



TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

令和7年11月20日

我孫子市小中一貫教育だより
第388号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

「こほく・あらき ふれあいカリキュラム」～湖北小・3年生「ふれあいサロンの方との交流を通して」

湖北小学校6年生総合的な学習の時間でオリジナルカリキュラムの授業を実施しました。この単元は12/12(金)に実施予定のクリスマス会で「ふれあいサロン」の高齢者の方々との交流を深め、人との接し方や感謝の気持ちを育むことを目的とし、本時はその準備の時間となります。

当日に向けて準備するのは、壁飾りとして木の葉で装飾したツリーの絵、サロンの方々と一緒に歌う「あわてんぼうのサンタクロース」の歌詞を書いた掲示物、サロンの方々にプレゼントする手作りのミニツリー、サロンの方々と一緒に楽しんで踊る「ソーラン節」のダンスです。それぞれに担当する児童が分かれており、リーダーから「丁寧に作ろう」「しっかりと覚えよう」などのめあてが発言されました。

リーダーの指示でそれぞれの活動場所に分かれ、いよいよ活動開始です。どの子どもとても楽しそうに、全ての子が集中して一生懸命に自分の役割や作業に取り組んでいました。ダンスの子ども達は、スムーズに覚えるための掛け声を自分達で考え、大きい声を出しながら練習しています。この掛け声を使うと「お年寄りがダンスを覚えやすくなるでしょう」と自慢げに教えてくれました。実行委員の子ども達も当日に向けての準備や進行について真剣な表情で話し合っています。そして、何よりも感心したのは、ダンスの子達が一通りの練習を終えた後、誰に言われるでもなく自分たちで振り返りの話し合いを始めたことです。「もっと大きく動いた方がいい」「〇〇を〇〇するとおじいちゃんやおばあちゃんももっとわかりやすく覚えられるのでは？」など、主体的に動いている様子に驚きました。ダンスに限らずですが、「サロンのお年寄りに心から喜んでもらおう」という目的を全員がしっかりと共有していたことがこのような素晴らしい姿、授業に繋がったのだと感じています。



「つながる・広がる・支え合う～優しい街久寺家」～根戸小・1年生「あきをを見つけよう」

根戸小学校の1年生がオリジナルカリキュラムの一環で北地区社協の方、地域の方、保護者ボランティアの方々の力をお借りして「昔あそび」の授業を実施しました。

この学習活動は、12月に地域の保育園、幼稚園の園児たちを根戸小に招き、幼保小ふれあい活動を行うにあたって、自分たちが園児たちの遊びの先生になるために、地域の遊びの先生から昔あそびを学ぶことが目的です。体育館に集合し、はじめの会を終えた後、児童たちは9つの昔あそびから思い思いのブースに駆け寄り夢中になって遊びました。遊びの先生からコツを教えてもらう子、教えてもらったことを友達に教えてあげる子、飛ばなかった紙飛行機が体育館の空中をすーっと通り抜けて遠くまで飛ばせるようになった子、毬つきに夢中になる子、活動中の児童たちは



時間を忘れて楽しんでいました。地域の方々から「すごいね。」「上手!上手!」と褒められて微笑む子どもたちの柔らかな表情が大変印象的でした。

終わりの会では、児童たちからお礼のダンスと折り紙で作ったメダルのプレゼントがありました。地域の方からも「私たちも楽しかったです。ありがとうございました。」とお話があり、体育館にいる皆が笑顔でお互いに「ありがとうございました。」の言葉が交わされました。根戸小1年生の「つながる・広がる・支え合う」を合言葉にした久寺家中学区の福祉教育プログラムの9年間の学びのスタートが笑顔で切られました。